

2018年3月期 第1四半期 決算実績 概況資料

2017年8月3日

株式会社西武ホールディングス（9024）

<http://www.seibuholdings.co.jp/>

I. エグゼクティブ・サマリー

P2

II. 2018年3月期第1四半期の主な取り組み P6

III. セグメント情報及び営業指標 P8

IV. 決算実績詳細 P21

V. 2018年3月期 業績予想 P25

2018年3月期第1四半期 決算実績

	2017/3期	2018/3期	対前年同期	
	第1Q	第1Q	(増減額)	(率)
営業収益	1,210	1,302	+91	+7.6%
営業利益	115	170	+54	+47.3%
償却前営業利益*	220	292	+71	+32.6%
経常利益	134	148	+14	+10.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	125	102	△23	△18.9%

(金額単位：億円)

* 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

決算実績ポイント

■ 営業収益

東京プリンスホテル・グランドプリンスホテル高輪の営業再開、2016年7月に開業したザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の収益寄与、東京ガーデンテラス紀尾井町における賃料収入の増加に加え、運輸収入の増加や、(株)横浜アリーナの連結子会社化により増収。

▶ 3ページ

■ 営業利益

増収による増益に加え、前年同期に東京ガーデンテラス紀尾井町開業にともなう一時的な費用の計上があったことにより増益。

▶ 4ページ

<西武鉄道・鉄道業>

運輸収入 前年同期比+2.2% (定期+2.1%、定期外+2.3%)

▶ 9ページ

<ホテル業>

RevPAR 10,727円 (前年同期比+7.0%)
シティ12,438円 (同+3.8%)、リゾート7,002円 (同+8.3%)

▶ 11ページ

■ 経常利益

前年同期にNWコーポレーションにかかる持分法による投資利益の計上があったことなどにより、営業利益と比較して増益額は縮小。

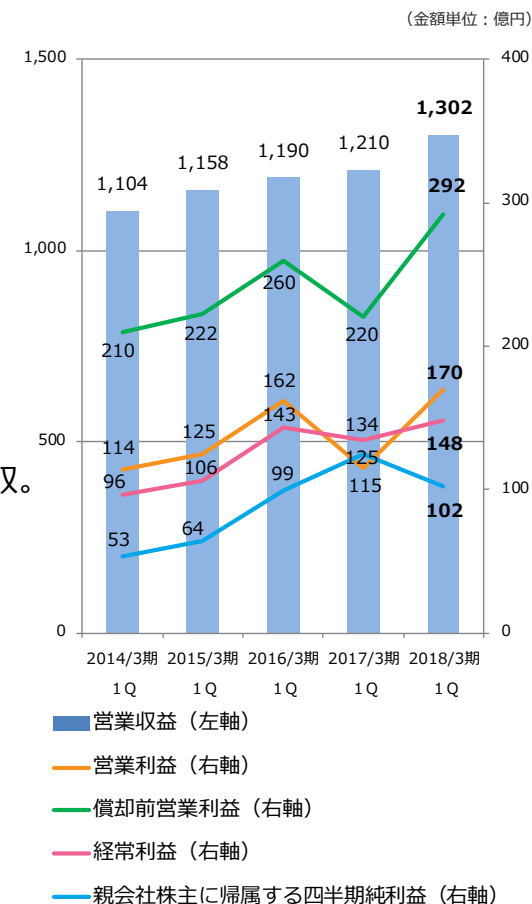
▶ 22ページ

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

上記要因に加え、前年同期にプリンスホテルにおける繰延税金資産の計上があったことにより、前年同期比△23億円。

▶ 21ページ

業績の推移



セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2017/3期 第1Q	2018/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	386	401	+15	+4.0%	鉄道業において、雇用情勢の堅調な推移やメットライフドームでのイベント開催および秩父エリアのプロモーション強化などにより定期旅客・定期外旅客ともに好調に推移したことや、(株)横浜アリーナの連結子会社化などにより増収
ホテル・レジャー事業	431	482	+50	+11.8%	東京プリンスホテル・グランドプリンスホテル高輪の営業再開、2016年7月に開業したザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の収益寄与や、MICEを中心に宴会部門が好調に推移したことなどにより増収
不動産事業	126	144	+17	+14.0%	2016年7月に開業した東京ガーデンテラス紀尾井町におけるオフィス・住宅・商業施設の賃料収入の増加および西武立川駅前での住宅販売などにより増収
建設事業	229	235	+5	+2.5%	大型の土木工事が竣工したことなどにより増収
ハワイ事業	42	41	△1	△2.6%	マウナケアビーチホテル・ハプナビーチプリンスホテルが好調に推移し、ドル建てでは増収となったものの、為替レートの変動により減収
その他	109	116	+7	+6.6%	西武ライオンズの観客動員数が増加したことなどにより増収
調整額	△115	△118	△3	—	
連結数値	1,210	1,302	+91	+7.6%	

セグメント別営業利益・償却前営業利益

■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2017/3期 第1Q	2018/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	79	86	+7	+8.9%	鉄道業において運輸収入が好調に推移したことや、(株)横浜アリーナの連結子会社化などにより増益
ホテル・レジャー事業	24	27	+3	+13.1%	リニューアルしたホテルの初動経費や、戦略的な人員の増加、新規事業に関連した販管費の増加など今後の成長に資する費用が増加したものの、増収により増益
不動産事業	△ 3	36	+40	—	増収による増益に加え、前年同期に東京ガーデンテラス紀尾井町開業にともなう一時的な費用の計上があったことなどにより増益
建設事業	7	6	△ 1	△ 21.2%	前年同期に利益率の高いリノベーション工事があったことなどにより減益
ハワイ事業	△ 1	△ 1	△ 0	—	ハワイプリンスホテルワイキキの改装にともない減価償却費が増加したことなどにより前年同期比横ばい
その他	8	12	+3	+44.2%	増収による増益
調整額	△ 0	2	+2	—	
連結数値	115	170	+54	+47.3%	

■ 償却前営業利益

(金額単位：億円)

	2017/3期 第1Q	2018/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	129	138	+9	+7.3%	
ホテル・レジャー事業	53	63	+10	+19.9%	
不動産事業	13	59	+45	+338.5%	
建設事業	8	7	△ 1	△ 18.7%	
ハワイ事業	2	3	+0	+6.2%	
その他	14	19	+4	+29.3%	
調整額	△ 2	0	+3	—	
連結数値	220	292	+71	+32.6%	

I. エグゼクティブ・サマリー P2

II. 2018年3月期第1四半期の主な取り組み P6

III. セグメント情報及び営業指標 P8

IV. 決算実績詳細 P21

V. 2018年3月期 業績予想 P25

2018年3月期第1四半期の主な取り組み

全体

- ・新規事業分野の創出を目的とし、西武ホールディングス内に「西武ラボ」を新設
- ・「SEIBU PRINCE CLUB emi」成田・羽田空港で入会キャンペーンを実施

都市交通・沿線事業

- ・西武秩父駅のリニューアル工事が完了、「西武秩父駅前温泉 祭の湯」開業（4月24日）
- ・YouTube企業公式アカウント「西武鉄道公式チャンネル/SEIBU RAILWAY Official Channel」を開設
- ・安比奈線の鉄道事業廃止手続き完了
- ・新型特急車両の基本デザインを決定（2019年3月期末運行開始予定）
- ・「飯能・西武の森」がSEGES※の最高位を獲得

※SEGESとは、公益財団法人都市緑化機構が運営している、企業などの緑の保全・創出活動による社会や環境への貢献度を評価・認定するシステム

ホテル・レジャー事業

- ・「東京プリンスホテル」リニューアルオープン（4月1日）
- ・「ザ・プリンス パークタワー東京」の「パノラミックフロア(19～28階)」客室リニューアルを推進
- ・「函館大沼プリンスゴルフコース」の名称を「北海道カントリークラブ プリンスコース」に変更、クラブハウスを新設しリニューアルオープン（6月1日）
- ・「軽井沢プリンスホテル イースト」が「スモール・ラグジュアリー・ホテルズ・オブ・ザ・ワールド™」に加盟（7月12日）
- ・宿泊特化型新ブランド「Prince Smart Inn」創設（2020年3月期営業開始予定）

不動産事業

- ・再開発プロジェクトの推進（所沢駅東口駅ビル計画（I期2018年春開業予定）、（仮称）西武鉄道池袋ビル計画（2019年春開業予定）など）

ハワイ事業

- ・「ハワイプリンスホテルワイキキ」の全面改装が完了、ホテル名称を「Prince Waikiki」に変更し、リニューアルオープン（4月1日）



西武秩父駅 駅舎外観



新型特急車両 車両外観イメージ



東京プリンスホテル 客室



Prince Waikiki 客室

- I. エグゼクティブ・サマリー P2
- II. 2018年3月期第1四半期の主な取り組み P6
- III. セグメント情報及び営業指標 P8
- IV. 決算実績詳細 P21
- V. 2018年3月期 業績予想 P25

都市交通・沿線事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第1Q	2018/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	38,624	40,160	+1,536	+4.0%	
鉄道業	26,014	26,592	+578	+2.2%	雇用情勢の堅調な推移やメットライフドームでのイベント開催および秩父エリアのプロモーション強化などにより定期旅客・定期外旅客ともに好調に推移し増収
バス業	6,390	6,462	+71	+1.1%	路線バスが好調に推移したことなどにより増収
沿線レジャー業	4,973	5,252	+278	+5.6%	「西武秩父駅前温泉 祭の湯」の開業や、「としまえん」においてチケット単価が上昇したことなどにより増収
その他	1,245	1,854	+608	+48.8%	(株)横浜アリーナの連結子会社化により増収
営業利益	7,963	8,668	+705	+8.9%	
償却前営業利益	12,932	13,874	+942	+7.3%	鉄道業において運輸収入が好調に推移したことや、(株)横浜アリーナの連結子会社化により増益

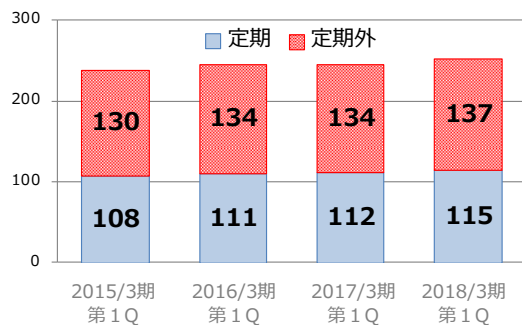
都市交通・沿線事業 鉄道業の運輸成績

輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

		2015/3期	2016/3期	対前年同期	2017/3期	対前年同期	2018/3期	対前年同期
		第1Q	第1Q	増減率	第1Q	増減率	第1Q	増減率
輸送人員	定期	100,922	103,822	+2.9%	104,848	+1.0%	106,948	+2.0%
	定期外	59,014	60,864	+3.1%	61,249	+0.6%	62,167	+1.5%
	計	159,936	164,686	+3.0%	166,097	+0.9%	169,116	+1.8%
旅客運輸 収入	定期	10,844	11,180	+3.1%	11,288	+1.0%	11,528	+2.1%
	定期外	13,018	13,415	+3.1%	13,476	+0.5%	13,792	+2.3%
	計	23,862	24,595	+3.1%	24,765	+0.7%	25,320	+2.2%
運輸雑収		1,007	1,018	+1.1%	996	△ 2.1%	996	△ 0.0%
収入合計		24,869	25,614	+3.0%	25,761	+0.6%	26,317	+2.2%

（単位：億円） 旅客運輸収入の推移



2017年8月3日 Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

■ 定期

雇用情勢の堅調な推移により増加

■ 定期外

メットライフドームでのイベント開催、秩父エリアの
プロモーション強化により増加

ホテル・レジャー事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第1Q	2018/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	43,137	48,210	+5,072	+11.8%	
ホテル業（シティ）	25,371	30,268	+4,897	+19.3%	東京プリンスホテル・グランドプリンスホテル高輪の営業再開、2016年7月に開業したザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の収益寄与や、MICEを中心に宴会部門が好調に推移したことなどにより増収
ホテル業（リゾート）	7,535	7,640	+104	+1.4%	一部事業所の改装にともなう営業休止の影響があったものの、RevPARが上昇し、食堂部門も好調に推移し増収
ゴルフ場業	3,435	3,471	+36	+1.1%	
その他	6,795	6,829	+34	+0.5%	
営業利益	2,436	2,756	+319	+13.1%	リニューアルしたホテルの初動経費や、戦略的な人員の増加、新規事業に関連した販管費の増加など今後の成長に資する費用が増加したものの、増収により増益
償却前営業利益	5,335	6,397	+1,061	+19.9%	

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

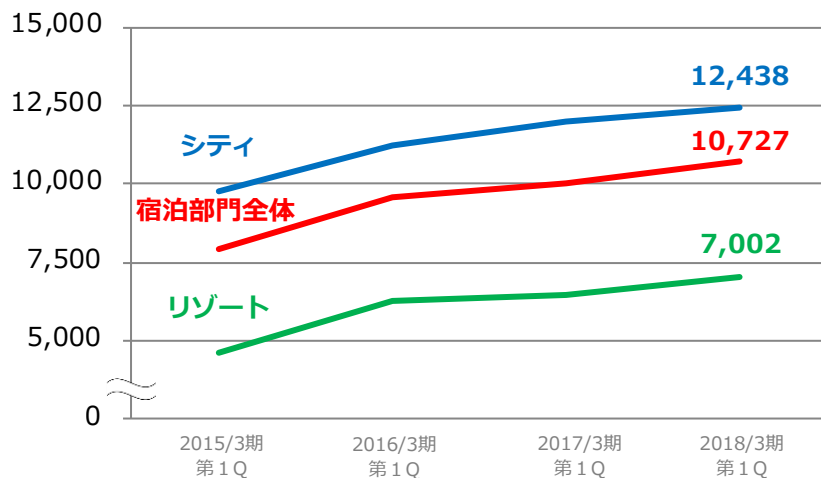
（室料：円）

		2015/3期	2016/3期	対前年同期	2017/3期	対前年同期	2018/3期	対前年同期
		第1Q	第1Q	増減率	第1Q	増減率	第1Q	増減率
RevPAR	シティ	9,781	11,238	+14.9%	11,987	+6.7%	12,438	+3.8%
	高輪・品川エリア	10,279	11,928	+16.0%	13,112	+9.9%	12,821	△ 2.2%
	リゾート	4,611	6,259	+35.7%	6,463	+3.3%	7,002	+8.3%
	軽井沢エリア	9,158	12,511	+36.6%	12,708	+1.6%	13,932	+9.6%
	宿泊部門全体	7,903	9,594	+21.4%	10,029	+4.5%	10,727	+7.0%
平均販売室料	シティ	11,977	13,435	+12.2%	15,012	+11.7%	15,472	+3.1%
	高輪・品川エリア	11,966	13,668	+14.2%	15,375	+12.5%	15,377	+0.0%
	リゾート	11,701	12,730	+8.8%	13,529	+6.3%	13,259	△ 2.0%
	軽井沢エリア	20,608	22,128	+7.4%	23,565	+6.5%	23,472	△ 0.4%
	宿泊部門全体	11,918	13,276	+11.4%	14,645	+10.3%	14,959	+2.1%
客室稼働率	シティ	81.7%	83.6%	+2.0pt	79.9%	△ 3.8pt	80.4%	+0.5pt
	高輪・品川エリア	85.9%	87.3%	+1.4pt	85.3%	△ 2.0pt	83.4%	△ 1.9pt
	リゾート	39.4%	49.2%	+9.8pt	47.8%	△ 1.4pt	52.8%	+5.0pt
	軽井沢エリア	44.4%	56.5%	+12.1pt	53.9%	△ 2.6pt	59.4%	+5.4pt
	宿泊部門全体	66.3%	72.3%	+6.0pt	68.5%	△ 3.8pt	71.7%	+3.2pt

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

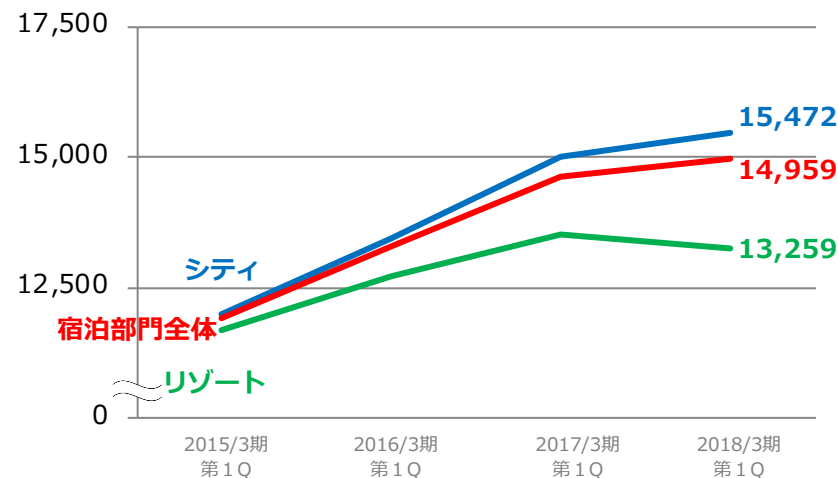
(単位：円)

RevPARの推移

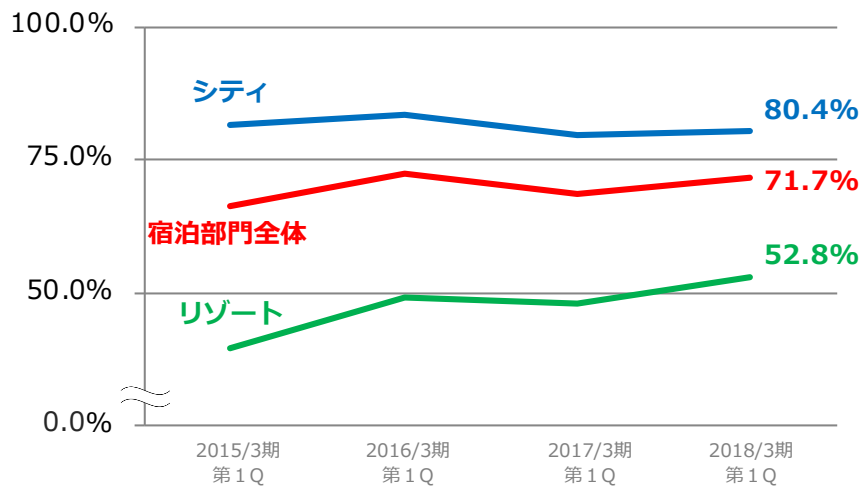


(単位：円)

平均販売室料の推移



客室稼働率の推移

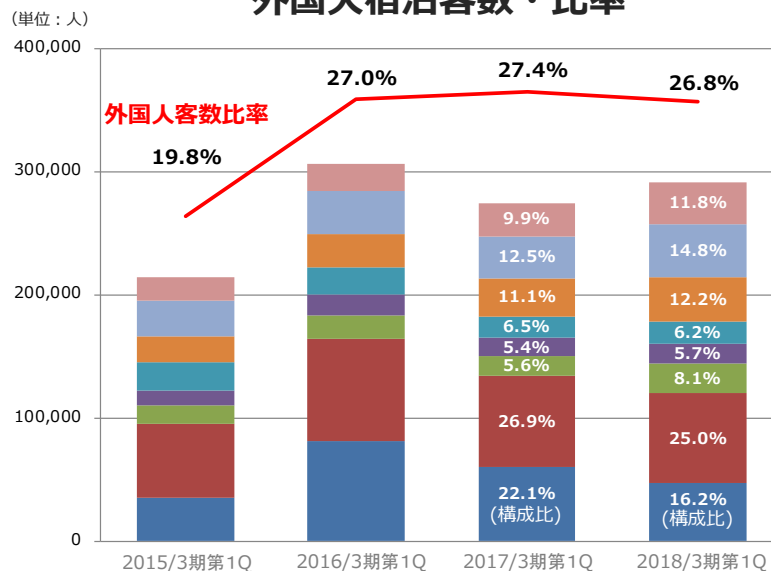


ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向 (宿泊客数・室料収入)

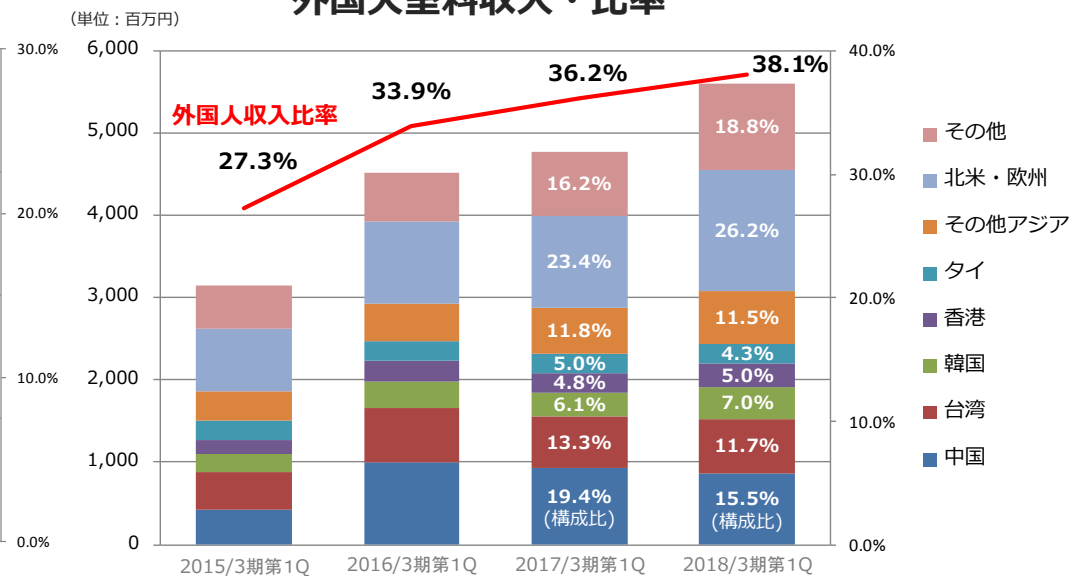
(人員単位：人、金額単位：百万円)

		2015/3期 第1Q	2016/3期 第1Q	対前年同期	2017/3期 第1Q	対前年同期	2018/3期 第1Q	対前年同期
宿泊客数 の内訳	邦人客	869,495	830,438	△ 39,057	730,517	△ 99,921	797,001	+ 66,484
	外国人客	214,426	306,599	+ 92,173	275,152	△ 31,447	292,045	+ 16,893
	計	1,083,921	1,137,037	+ 53,116	1,005,669	△ 131,368	1,089,046	+ 83,377
室料収入	外国人客	3,148	4,515	+ 1,366	4,767	+ 251	5,603	+ 836

外国人宿泊客数・比率

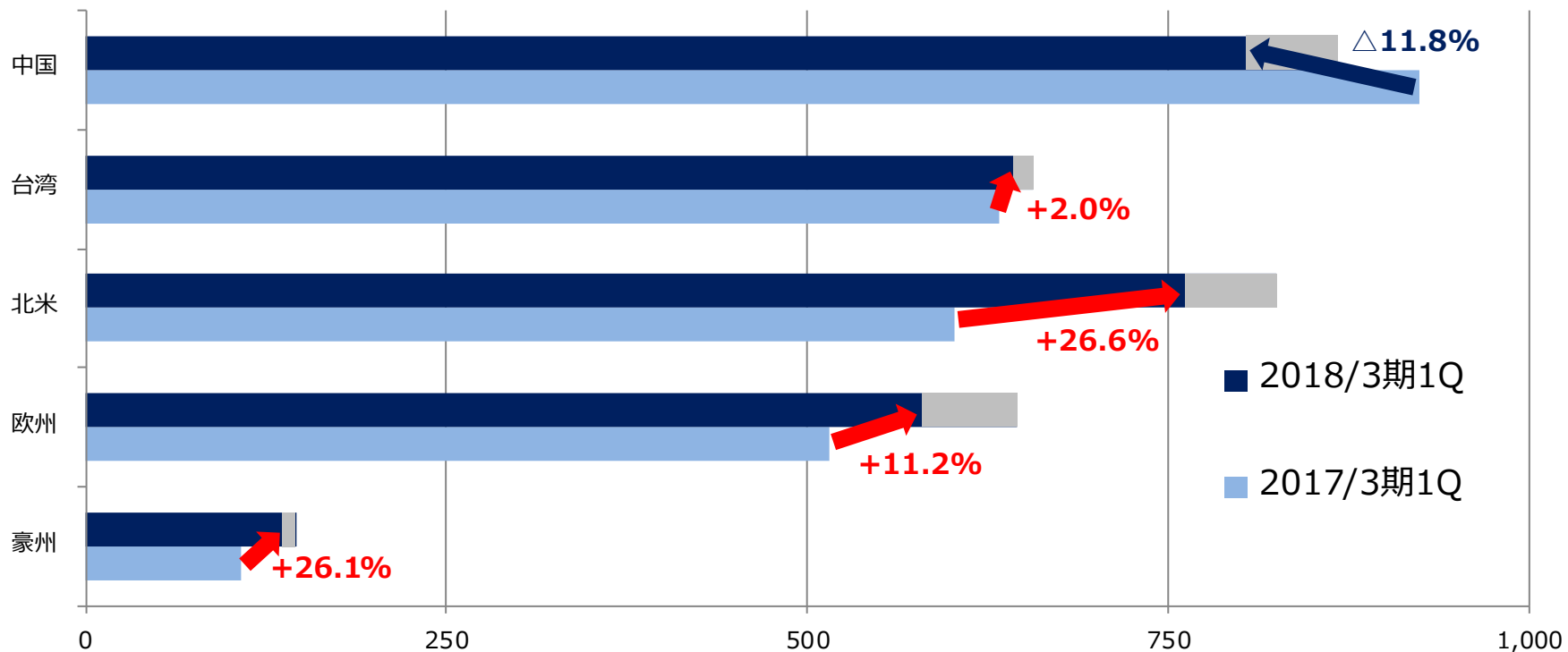



外国人室料収入・比率



ホテル・レジャー事業 マーケットチェンジの状況

■ 主な国・地域の外国人室料収入※



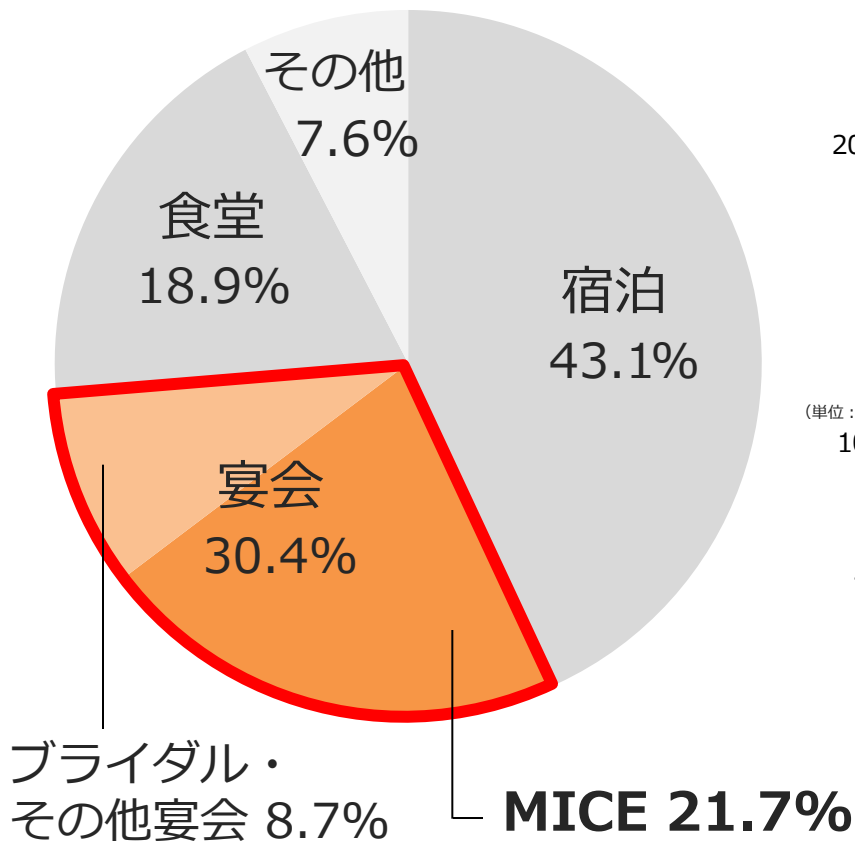
※耐震補強工事とともに営業休止の影響（グラフ内の  ）を除いたベース

(単位：百万円)

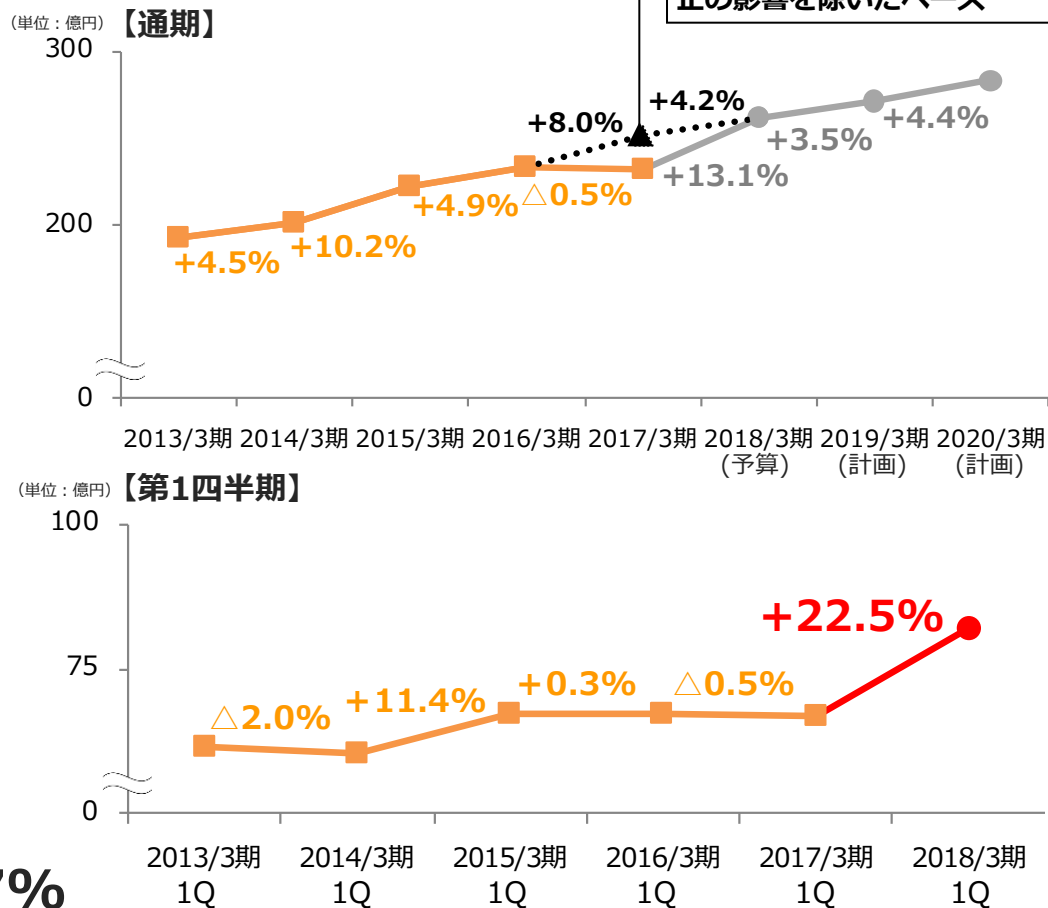
北米、欧州、豪州など、より単価の高い地域が着実に増加

ホテル・レジャー事業 MICEの状況

■ ホテル業の売上高構成比 (2018年3月期1Q)



■ MICE売上高の推移



MICE売上高は増加トレンドが継続。企業のミーティング需要を着実に取込んでいるほか、東京プリンスホテル・グランドプリンスホテル高輪の営業再開の寄与もあり、好調に推移

不動産事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第1Q	2018/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	12,656	14,432	+1,776	+14.0%	
不動産賃貸業	8,071	9,729	+1,658	+20.6%	2016年7月に開業した東京ガーデンテラス紀尾井町におけるオフィス・住宅・商業施設の賃料収入の増加により増収
その他	4,585	4,702	+117	+2.6%	西武立川駅前での住宅の販売により増収
営業利益	△ 362	3,666	+4,028	—	増収による増益に加え、前年同期に東京ガーデンテラス紀尾井町開業にともなう一時的な費用の計上があったことなどにより増益
償却前営業利益	1,355	5,943	+4,588	+338.5%	

(面積：千㎡)

		2015/3期 第1Q	2016/3期 第1Q	対前年同期	2017/3期 第1Q	対前年同期	2018/3期 第1Q	対前年同期
建物賃貸物件 の期末貸付面積	商業施設	224	233	+8	236	+3	238	+1
	オフィス・住宅	56	62	+6	83	+20	169	+86
建物賃貸物件 の期末空室率	商業施設	1.7%	1.6%	△ 0.1pt	2.0%	+0.4pt	0.7%	△ 1.3pt
	オフィス・住宅	7.1%	7.1%	△ 0.0pt	49.4%*	+42.3pt	1.5%	△ 47.9pt

建設事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第1Q	2018/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	22,958	23,535	+576	+2.5%	
建設業	16,798	17,491	+692	+4.1%	大型の土木工事が竣工したことなどにより増収
その他	6,159	6,043	△115	△1.9%	
営業利益	795	626	△168	△21.2%	前年同期に利益率の高いリノベーション工事が
償却前営業利益	880	715	△164	△18.7%	あったことなどにより減益

建設業の受注高の状況

(金額単位：百万円)

	2015/3期 第1Q	2016/3期 第1Q	対前年同期	2017/3期 第1Q	対前年同期	2018/3期 第1Q	対前年同期
期首繰越高	62,321	84,335	+22,014	99,069	+14,733	89,755	△9,313
期中受注高	32,741	13,339	△19,402	20,264	+6,925	13,185	△7,079
期末繰越高	77,380	84,215	+6,834	102,574	+18,359	85,505	△17,069

ハワイ事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第1Q	2018/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	4,229	4,120	△ 109	△ 2.6%	マウナケアビーチホテル・ハプナビーチプリンスホテルが好調に推移し、ドル建てでは増収となったものの、為替レートの変動により減収
営業利益	△ 156	△ 191	△ 35	－	ハワイプリンスホテルワイキキの改装にともない、減価償却費が増加したことなどにより前年同期比横ばい
償却前営業利益	292	310	+18	+6.2%	

ホテルの客室稼働率、平均販売室料

	2015/3期 第1Q	2016/3期 第1Q	対前年同期	2017/3期 第1Q	対前年同期	2018/3期 第1Q	対前年同期
客室稼働率	76.9%	75.9%	△ 1.0pt	71.0%	△ 4.9pt	64.2%	△ 6.8pt
平均販売室料 (円)	24,815	30,905	+6,090	29,167	△ 1,738	31,165	+1,998
平均販売室料 (米ドル)	243.28	257.97	+14.69	265.15	+7.18	296.81	+31.66

その他 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第1Q	2018/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	10,949	11,673	+724	+6.6%	西武ライオンズの観客動員数が増加したことなどにより増収
営業利益	878	1,266	+388	+44.2%	増収による増益
償却前営業利益	1,499	1,939	+439	+29.3%	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2018年3月期第1四半期の主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2018年3月期 業績予想	P25

連結損益計算書サマリー

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第1Q	2018/3期 第1Q	対前年同期	摘要
営業収益	121,053	130,244	+9,190	都市交通・沿線：+15億円、ホテル・レジャー：+50億円、 不動産：+17億円、建設：+5億円、ハワイ：△1億円、 その他：+7億円
営業利益	11,549	17,009	+5,460	都市交通・沿線：+7億円、ホテル・レジャー：+3億円、 不動産：+40億円、建設：△1億円、ハワイ：△0億円、 その他：+3億円
営業外収益	4,611	733	△ 3,878	持分法による投資利益 △37億円
営業外費用	2,757	2,877	+119	
経常利益	13,403	14,865	+1,462	
特別利益	905	167	△ 737	
特別損失	1,130	617	△ 512	
税金等調整前四半期純利益	13,178	14,415	+1,237	
法人税等	555	4,082	+3,527	法人税等調整額 +30億円（前年同期：プリンスホテルにおける繰延税金 資産の計上 △35億円）
四半期純利益	12,623	10,332	△ 2,290	
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	112	+86	
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,596	10,220	△ 2,376	

営業外・特別損益

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第1Q	2018/3期 第1Q	対前年同期	摘要
営業利益	11,549	17,009	+5,460	
営業外収益	4,611	733	△ 3,878	
受取利息・配当金	367	440	+72	
バス路線運行維持費補助金	109	109	+0	
持分法による投資利益	3,740	—	△ 3,740	前年同期：NWコーポレーションが持分法適用関連会社になったことによる なう計上
その他営業外収益	394	182	△ 211	
営業外費用	2,757	2,877	+119	
支払利息	2,588	2,671	+83	
持分法による投資損失	—	46	+46	
その他営業外費用	169	159	△ 9	
経常利益	13,403	14,865	+1,462	
特別利益	905	167	△ 737	
固定資産売却益	35	9	△ 25	
工事負担金等受入額	18	43	+24	
補助金収入	316	114	△ 201	
受取保険金	429	—	△ 429	
その他特別利益	105	—	△ 105	
特別損失	1,130	617	△ 512	
固定資産売却損	8	76	+68	
固定資産除却損	528	404	△ 123	
工事負担金等圧縮額	18	21	+3	
固定資産圧縮損	296	100	△ 196	
投資有価証券評価損	0	—	△ 0	
固定資産撤去損失引当金繰入額	264	—	△ 264	
その他特別損失	14	14	+0	
税金等調整前四半期純利益	13,178	14,415	+1,237	

2017年8月3日

Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

連結貸借対照表サマリー

(金額単位：百万円)

	2017/3期 期末	2018/3期 第1Q末	対前期	摘要
資産 合計	1,627,868	1,608,022	△ 19,845	
流動資産	126,702	106,576	△ 20,126	受取手形及び売掛金 △7,832 現金及び預金 △3,985 その他 △7,373 (未収還付消費税の入金など)
固定資産	1,501,166	1,501,446	+280	投資有価証券 +6,386 有形・無形固定資産 △3,969 繰延税金資産 △1,568
負債 合計	1,267,735	1,240,795	△ 26,940	
流動負債	366,590	339,048	△ 27,541	支払手形及び買掛金 △9,076 その他 △23,803 (設備投資未払金等の減少) 賞与引当金 +5,209
固定負債	901,144	901,746	+601	退職給付に係る負債 +644
純資産 合計	360,133	367,227	+7,094	利益剰余金 +5,342 その他有価証券評価差額金 +4,650 為替換算調整勘定 △2,159 退職給付に係る調整累計額 △922
有利子負債 期末残高	909,104	908,591	△ 512	
ネット有利子負債	880,032	883,505	+3,472	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2018年3月期第1四半期の主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2018年3月期 業績予想	P25

2018年3月期連結業績予想（期初予想と変更はございません）

2018年3月期 第2Q予想

（金額単位：億円）

	連結	都市交通・沿線事業	ホテル・レジャー事業	不動産事業	建設事業	ハワイ事業	その他	調整額
	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期
営業収益	2,698 + 7.4%	827 + 5.4%	1,051 + 13.1%	287 + 9.6%	490 + 3.0%	85 + 4.8%	234 + 3.1%	△ 276 -
営業利益	352 + 17.0%	165 + 4.2%	98 + 22.7%	67 + 130.8%	10 △ 49.2%	△ 5 -	20 △ 5.2%	△ 3 -
償却前営業利益	598 + 15.4%	269 + 4.1%	171 + 22.3%	113 + 66.2%	12 △ 44.0%	5 + 30.9%	34 + 1.0%	△ 6 -
経常利益	307 + 4.8%							
親会社株主に帰属する 四半期純利益	219 △ 13.0%							

2018年3月期 通期予想

（金額単位：億円）

	連結	都市交通・沿線事業	ホテル・レジャー事業	不動産事業	建設事業	ハワイ事業	その他	調整額
	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期
営業収益	5,420 + 5.9%	1,629 + 4.1%	2,107 + 11.8%	609 + 13.3%	1,074 △ 6.6%	195 △ 15.8%	382 + 2.6%	△ 576 -
営業利益	632 + 1.2%	268 △ 0.0%	190 + 34.8%	142 + 80.0%	40 △ 59.3%	△ 4 -	3 △ 58.3%	△ 7 -
償却前営業利益	1,142 + 5.6%	484 + 1.9%	342 + 26.8%	235 + 45.1%	45 △ 55.9%	18 △ 70.2%	32 △ 5.0%	△ 14 -
経常利益	546 △ 5.0%							
親会社株主に帰属する 当期純利益	408 △ 14.2%							

（注）連結業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。